

01 (公社) 四條畷市シルバー人材センターが描くデジタルトランスフォーメーション

SDGs : 持続可能な社会の実現



2030年度目標

1. 剪定木再生処理量 : 90トン/年
2. 就業延人員 : 410人

センターの事業価値向上 = 社会的価値向上

会員拡大・発注者・
地域ニーズの対応

地域
高齢者

就業機会獲得 (拡大)
会員の生きがい・社会参加
健康維持

四條畷市シルバー人材センター

デジタルトランスフォーメーション推進

アフターコロナ
&
デジタル社会への対応

事務局業務の
標準化・効率化
データ一元化

- ① モバイルフォンを活用した入会・広報
- ② 会員サービスのオンライン化
- ③ 会員と仕事のコーディネート
- ④ 適正な予算執行把握

DXビジョン

会員・職員に向けたDXの取り組みを実行できるセンター改革を行い、持続可能な社会的価値実現に取り組んでいきます。

具体的なDX実現方法

1. 会員に向けたDX

【業務改革】

- 就業機会提供及び確保のための仕組み作り。
- 仕事の紹介、配分金の確認、作業報告の処理など、スピーディに確認ができる会員サービス向上。

2. 職員に向けたDX

【業務改革】

- 業務の標準化・効率化を推進し、本来、人がしなければならない会員、就業拡大に注力する。
- データの一元化から可視化することで、事業計画策定及び施策実行、効果測定のパドカを推進する。

【人材育成】

- DX知識習得、データ分析 (仮説設定・検証) から事業戦略策定のスキルアップ

02 トップレビュー（令和5年度戦略の推進状況） ～令和5年度事業報告及び令和6年度事業の取組み～

令和5年度のデジタルトランスフォーメーションの取組みとして、事業計画を策定し、施策に取り組んできました。

令和6年4月1日 理事長 田中俊行

1. 就業機会提供事業



就業を希望する会員に対し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務の就業機会を提供する。①除草作業、清掃作業、庭木の剪定、襖・障子の張替作業、施設管理業務など既存業務の実施及び拡充。②新規就業先の開拓、③新規事業の調査検討。

2. 就業機会確保事業



（1）普及啓発事業

ホームページや就業等を通じて社会参加を希望する高齢者及び地域社会に対しセンター事業の周知を図る。

- ①新規会員の入会促進（四條畷市広報誌への折込チラシの実施、既存会員による紹介キャンペーンの実施、会員募集のチラシ配布、女性登録会員の拡大）
- ②広報「四條畷「LIFE」による啓発、③「たわら通信」による啓発、④市役所窓口封筒への広告掲載、⑤普及啓発物の配布、⑥普及啓発月間の活動強化、⑦ホームページの活用強化。

（2）研修・講習会事業

会員の技術や知識が必要とされる職種について、就業できる会員の養成・技術向上を目的とした研修、講習会を実施し、就業機会の拡大を図る。

- ①各種技能講習会の開催及び参加 ※大阪府シルバー人材センター協議会、河北地区ブロック等の開催に参加
- ②就業会員のフォローアップ研修に参加、③安全講習会の開催

（3）剪定木再生利用事業（チップ事業）

剪定木を粉砕、堆肥化し土壌改良として再生利用する。土壌改良材（チップ）の藩布

（4）シルバーふれあい農園事業

四條畷市域においては、農業従事者の減少、高齢化に伴い耕作放棄地等が増加傾向にあることから、そうした農地などを借り受け、農作業に興味がある高齢者を募り、野菜等の栽培、販売を行い農地の保全に努める。

- ①野菜の栽培・販売、②借り受けた農地の保全

3. 安全衛生・適正推進事業



会員の就業中での安全に対する意識の徹底、就業途上での交通事故及びの防止を含めた安全に関する講習会等に取り組む。
①安全衛生管理意識の啓発、②安全就業基準の周知徹底、③適正就業の推進、④作業現場パトロール強化、
⑤事故原因の検証と対策の徹底、⑥交通安全講習会の実施

4. 職業紹介事業



公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う職業紹介事業の実施事業所として、臨時的かつ短期的な雇用による就業、又はその他軽易な業務に係る就業の推進に努める。

5. 労働者派遣事業



公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う労働者派遣事業の派遣事業所として、臨時的かつ短期的な雇用による就業、又はその他軽易な業務に係る就業の推進に努める。

6. 訪問介護事業



介護保険法に基づく訪問介護事業として、サービスの提供を行うとともに、ヘルパー資格を持つ会員の拡充に努める。

7. 第一号訪問事業



介護予防・日常生活支援総合事業による第一号訪問事業として、サービスの提供を行うとともに、従事資格会員の拡充に努める。

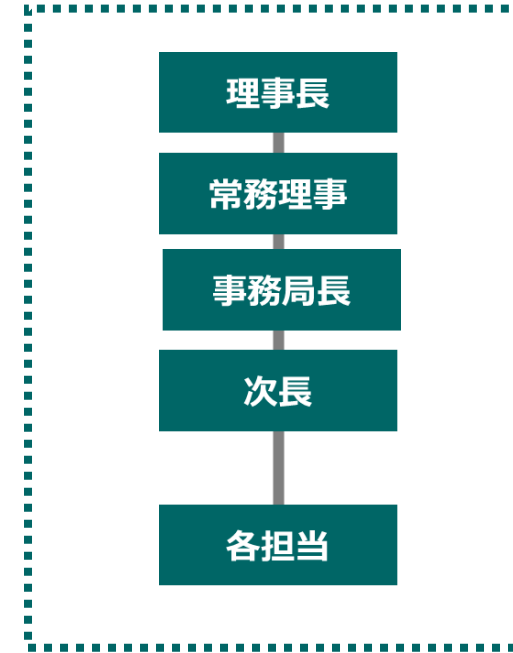
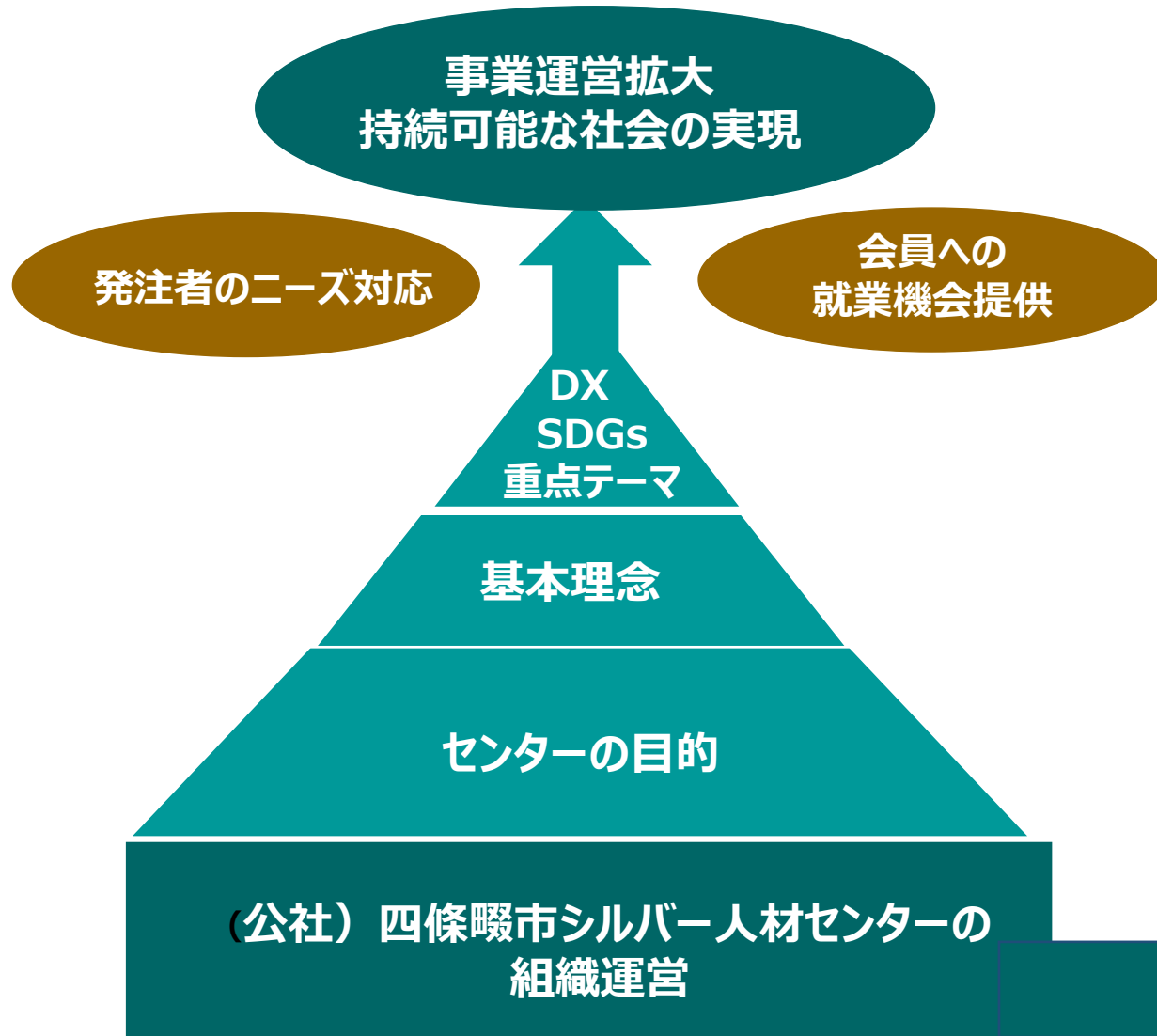
8. デジタル化の取り組み



- (1) 会員サービス向上／職員の業務標準化策：配分金明細書のスマホ閲覧
- (2) 職員の業務標準化／効率化対応：業務・会計システムのデータ分析ダッシュボード、会員・発注者のマッチング機能強化
業務システムインボイス対応

03 DX推進体制

理事会にて事業運営・デジタル活用の方向性決定
及び推進状況報告



1. バックオフィスDX計画策定・取り組み
2. 推進報告（年度）／達成度評価（年度）
↓
3. 事業計画的推進状況推進状況報告（四半期ごと）
→PDCAサイクルによる測定
4. センター活動による貢献状況報告（年度）
達成度評価（年度）
↓
課題より、データ再分析
5. 次年度事業計画に反映させる

04 DX推進シナリオ

項目	令和6年度		令和7年度（案）		令和8年度（案）	
DX人材育成	養成人数	5名	養成人数	5名	養成人数	-
	内容	・業務／会計システムスキルアップ講習	内容	・DX基礎講習実施 ・業務／会計システムスキルアップ講習 ・データ分析講習	養成内容	・DXフォローアップ講習実施 ・業務／会計システムフォローアップ講習 ・データ分析講習
デジタル技術の活用	業務のデジタル化	50%	業務のデジタル化	70%	業務のデジタル化	80%
	内容	① 業務システム機能強化 →ダッシュボードによるデータ分析対応 ② 会員サービス向上 →1)会員向けスマートフォンによる配分金 明細閲覧対応 2)Web入会サービス（検討）	内容	① スマートフォン活用 →災害・お仕事情報・お知らせ配信を メール、LINE・SMS配信 →作業報告書&業務システム連携	内容	① 電子契約活用 ② 電子請求書配信